



from NEW YORK from NEW YORK from NEW YORK
マッシー川口
 from NEW YORK from NEW YORK from NEW YORK

from New York

「いやはやニューヨークの
 携帯電話事情」の巻

ハッピーニューイヤー！明けましておめでとうございます。電子年賀状もすっかり定着してきたけど、アナタが携帯電話をお持ちなら「今年もよろしくコール」を携帯からおかけになったかしら？



最近、ニューヨークでも携帯電話の普及が飛躍的に広がっているというニュースがよく紹介されているけれど、こちらで配布されている「U.S. Japan Business News」紙にまた記事が載ってるワ。これによると、オムニポイントコミュニケーションズという携帯電話会社の現在8万人いる加入者のうち、97年6月から新規加入者の数は2倍に増えてるんだって。今日、私が「ラジオシャック(Radioshack)」というオーディオショップに行ったときも、お店が長距離電話会社のスプリントと独占契約して、せっせと価格お安めのPCS(携帯電話)の大々的なマス宣伝を展開中でしたよ。10月に新規加入した人は9月の加入者のなんと3倍に跳ね上がっているらしいの。ニューヨーク人口約2000万人のうち一体どれぐらいの人が現在携帯電話を所有しているのかしら？増えているのは確かだけれど、ニューヨークタイムズ紙でサイバースーチしてみたら、アメリカの携帯人口は45ミリオン(4500万人)となっていて、日本で4人に一人は携帯を持っている状況に比べると少ない気がするけどどうなのかな？



渡米して3年目の私は、東京へ仕事で帰国するたびにセルラー普及の速度には目を見張ってた。ビジネスマンはさることながら、女子高生がキティーちゃんのケースに入れた携帯電話を使ってコンビニで買い物しながらしゃべりまくる姿や本屋の床に座って小学生が携帯持って大きな声で笑う姿などにいちいち驚いたりしてたけど、マンハッタンを歩く限りそんな光景に出会ったことがないのよね。毎日よく乗る地下鉄のホームや座席、はたまたバスの中でも携帯音が鳴ったことは一度もないしね。電車のホームを歩きながら胸ポケットから小さな携帯電話をサッと出して、誰かの留守デンに独り言してるのも見たことナシ。しかもアメリカの携帯電話本体は日本のモノよりかなりBIGなのがちょっとね(この国は縮小主義文化じゃないから仕方ないんだけど...。何でもデカイの！とほほ)。

ストリートではもちろん携帯電話で話す姿を見かけたことはあるわよ。ロックフェラーセンター近くのビジネス街やウォールストリートなどで、スーツ姿の男女が耳を電話に押しつけて真面目な顔で大きく口を動かしてる姿はね。でも、いつも仕事感が前面にアピールされて、日本みたいに学生、OL、主婦、子供達が楽しそうに携帯で会話する



カワグチ マサヨ

ニューヨーク在住のフリージャーナリスト。テレビやラジオでニューヨークからのレポートを送っている。他にコナミの人気ゲーム「ときめきメモリアル」の片桐彩子役(声優)としても活躍。今年の朝日新聞デジタル広告賞特別審査員。



姿というものを見かけたことがないわけ。これはやはり携帯電話に対するイメージが根本的に違うのかも！無駄を嫌うアメリカ人なら、いまのニューヨークで特別に仕事で必要でもない限り、携帯電話など買わないというのも充分うなずける。

● 私の周りでも持っている人は日本と比べると圧倒的に少なく、メディア関係で働く人は絶対必要だけど、私の場合はいつも同行するプロデューサーが持ってるので特に個人的なセルラーは必要なく、いまのところ留守デンで充分なの。あつたら便利だとは思けど、仕事面であまり不自由がないのが不思議なくらい。もし日本に住んでいたらきっと買ってると思うけどね(笑)。東京では一日に何度もあちこちで携帯が鳴り、テレビの携帯のCMにまでビクッと反応する私だけど、アメリカではカジュアルなカフェなら鳴ることはあっても、ジャケット着用指定のオシャレな高級レストランで携帯電話のトゥルル音を聴くことはまずあり得ないわね。やはり「テレエチケット(Telletiquette)」面はアメリカの方がこだわりがあるのかもしれない。まあ人口密度の低い国だからイチガイには言えないけどね。

ちなみに今日、私は地下鉄に乗って3つ目、42丁目の通称グラセン(グランドセントラル)まで用事が出かけたけど、街角に立ち止まって携帯つかんで仕事の交渉してるアジア人と白人を何人か見ただけ。携帯音は今日も一度も聴かなかったヨ。一体どこに「携帯モテラー」が潜んでいるのが真剣に疑問ダァ！@@

さて、携帯電話の1分間の使用料金は96年の秋以来、50%も安くなっているけれど、これでもニュ

● ヨークは他の都市に比べて高い方で、あと20%は下がると予想されているの。きっとこれからニューヨークの携帯人口はピークを迎えるのかな？いまや携帯電話でEメールが読めて、FAXも送れる時代。これは便利よね。来年から私も使ってみよう~い！アメリカでは携帯電話人口の2倍にあたる1億人以上がインターネットユーザーだから、じわじわとネットフォン革命が興っているわけね。

● そういえば、ユナイテッド航空の飛行機の座席のポケットに置いてある雑誌には、盛んに「VIDEO PHONE」というソフトの広告が目立ってたわ。「電話じゃ笑顔は見れません」というキャッチコピーで出張中のパパがパソコンのモニターの子供の笑顔と会話してる写真は新しい電話の予感さえたわ。不倫のために携帯電話を買う人が多かったという本能の誘いよりいかに健康的な象徴ね。ふうむ。



● 携帯電話でスウィートに連絡を取ってロマンチックに燃え上がるような恋が今年にはできるといいナァ。なんて、ホホホ。そいじゃ今月はこの辺で。パッパッハイ。1998年もよろしくネ！！マッシー from New York @@; Love & Peace

illustrator : Satoko Kido





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp